

名古屋市シルバーパワーを 活用した地域力再生事業

「モデル実施三年間の振り返り」

シルバーパワーを活用した地域力再生事業(以下、シルバーパワー事業)は、平成二十年度から名古屋市内の四区八学区においてモデル実施し、平成二十一年度で三年を迎えました。モデル実施の三年間で様々な成果とともに、課題も浮かび上がりました。今回は、この間の取り組みを振り返ります。

【シルバーパワー事業とは】
「団塊の世代をはじめとするシルバー世代の方が「地域でボランティア活動などに参加する」ことで、「地域が抱える様々な課題を解決する力を活性化する」事業です。
【シルバーパワー事業における新たな取り組み】
○シルバーパワー活用連絡会議／協働ネットワーク研修
地域住民のみなさんが地域の課題を共有し、解決のための道をつくる場。
○個別支援事業(地域支えあい活動)
地域住民を中心とした地域の課題解決のための活動
○ボランティア・ポイント制度
活動のきっかけづくり、ボランティア団体などへのポイント寄付を通じた地域活性化と地域貢献
※平成22年度モデル実施学区
東区(山吹・明倫) 港区(大手・西福田) 南区(明治・道徳) 天白区(表山・高坂)

「地域福祉」実践の新しい風…
シルバーパワー事業では、特に地域が抱える様々な課題を地域住民のみなさんの支えあいにより解決することを目指し、新たな支えあいのための活動の創出や「個別支援事業(地域支えあい活動)」を積極的に展開するための基盤づくりをすすめました。

新たに立ち上がった支えあい活動…
「個別支援事業」の立ち上げ
シルバーパワーの実施区・学区では、個別支援事業(地域支えあい活動)により、個々の生活に寄り添った支援を進めてきました。
天白区表山学区では、高齢者や障がい者の「ちよっとしたことだけでも分ではできない」困りごとを住民の支えあいで解決する仕組み『お助けマン制度』が立ち上がりました。例えば、『ゴミ出しに困った住民が地域福祉活

もに解決に向けた取り組みを行いました。
*1 地域福祉活動推進員…実施学区において、ボランティアポイント関連事務やボランティアニーズの調整などを行っており、事業推進の窓口的役割を果たす。
*2 コミュニティワーカー…区社協に配置された専門職で地域状況の把握や必要な情報の提供、相談、援助など専門性を活かした支援を行う。

団塊の世代のボランティア活動…
「ボランティア・ポイント制度」
団塊の世代をはじめとするシルバー世代を中心に、地域でのボランティア活動などの担い手の拡大は、シルバーパワー事業の大きな課題の一つです。

地域活動に参加するきっかけとして、また、地域貢献の仕組みとして設けられているのが、ボランティア・ポイント制度です。この仕組みの魅力は、ボランティア活動をすることとポイントをためて寄付するの2つの地域貢献が、きんぎょの2つあります。このポイント制度による地域で活動するボランティア団体への寄付(還元)は、平成二十年度の九、四六五ポイントから平成二十一年度には四

六、七〇五ポイントとなりました。また、活動延べ人数も六四七人(平成二十年度から、二七五人と増加しています)。
ポイント制度は、地域の多様な活動の支援と活動の場の広がりにつながっており、取り組みを継続するための手段ともなっています。

平成20～22年度 ボランティア・ポイント制度実績の推移

	平成20年度	平成21年度	平成22年度
認定事業数	87事業	110事業	112事業
カード配布人数	674人	1,070人	1,175人
ポイント付与数	12,980ポイント	43,086ポイント	50,050ポイント
活動延べ人数	5,123人	15,937人	18,589人
ポイント還元額 ※1ポイント=10円	94,650円 (9,465ポイント)	410,330円 (41,033ポイント)	467,050円 (46,705ポイント)
ポイント還元団体数	10団体	10団体	12団体

このように還元実績等が伸びを見せている一方で、シルバーパワー事業の目的の一つである団塊の世代の

動推進員(※)に相談すると、ボランティアを調整し、「ゴミ出し活動を実施します」。
南区道徳学区では、この町内会の有志がボランティアとして登録し『支えあい活動』を実施していましたが、シルバーパワー事業をきっかけに、学区全体に仕組みが広がりました。

個別支援事業(地域支えあい活動)による生活支援の状況【平成22年度実績】

支援の内容	相談件数	ボランティア活動による解決件数	その他の支援による解決件数
ゴミだし、清掃など日常生活上の支援	226	216	10
小修繕、資源回収、犬の散歩など困りごと支援	995	971	24
訪問、傾聴、声かけなど見守り支援、問題の早期発見	299	285	14
通院や買い物のための外出支援	82	82	—
サロンへの誘いなど交流や仲間づくりを進める支援	8	6	2
その他	9	6	3
合計	1,619	1,566	53

また、港区大手学区では、支えあい活動を実施する『銀杏の会』を立ち上げました。その他にも、ふれあいネットワーク活動(見守り活動を拡充し、その中で困り事を把握し、ボランティア活動で解決するなど、実施学区ごとに個別支援事業が行われています)。
平成二十一年度末で、これらの活動は八学区で十一事業にまで広がりました。この活動により、公的サービスのみでは解決できない電球の取り換え、買い物の付き添い、ゴミ出しなどちよっとした困りごとへの対応、災害時要援護者の支援など、地域住民のニーズに応える新たな取り組みが着実に広がりました。
一方で、実施学区で行われていた従前事業の拡大にとどまった学区もあり、今後、早い段階での新たな個別支援事業の実施が望まれます。
なお、ボランティアでは解決できない困りごとについては、区社協に配置されている「コミュニティワーカー」(※)がその専門性を活かし、関係機関との調整などを行い地域と

ボランティア活動への参加については、やや伸び悩んでいるのが現状です。仕事をしている団塊の世代でも参加しやすい仕組みを構築することが、今後の大きな課題の一つとなっています。
※本年度も還元団体を募集していますので、希望される団体は下記お問い合わせ先までご連絡ください。

地域の課題の共有と解決に向けて…
事業を実施する学区では、地域福祉を推進する団体である地域福祉推進協議会とボランティア団体・NPO法人など地域の多様な団体との協議の場として、「シルバーパワー活用連絡会議」を設置しています。
また「協働ネットワーク研修」を実施し、地域の抱える課題解決のためのノウハウなどを学習しました。
一方で、地域には多くのボランティア団体やNPO法人がありますが、シルバーパワー事業に参画し、協働できているケースはまだ一部であり、相互理解や協働が進んでいないことが課題となっています。これは、ポイント制度の還元金が、ボランティ

ア団体やNPO法人に広く還元され、難しい状況にあることの背景にもなっていると考えられます。
これらの課題を解決するために、地域の様々な団体の相互理解が進み協働できるように、協働ネットワーク研修などで機会をつくっていく必要があります。

やむを得ず…
シルバーパワー事業は、モデル事業の成果を踏まえ、平成二十三年度からこれまでの四区八学区を、八区二十四学区に拡大して実施します。モデル三年間の実績を分析し、課題を解決しながら、団塊の世代等シルバーパワー世代の活動の場を広げるとともにボランティア活動により地域の課題を解決する仕組みづくりに取り組めます。
※平成二十三年度からは、既存の四区に加えて、西区、中村区、昭和区、瑞穂区で実施します。

本事業のお問い合わせ先
名古屋市社会福祉協議会 地域福祉推進部
電話 〇五二一九一三三三三
ファックス 〇五二一九一三三三三